



主観的! 昆虫つうしん

チョウ目タテハチョウ科 「ゴマダラチョウ」

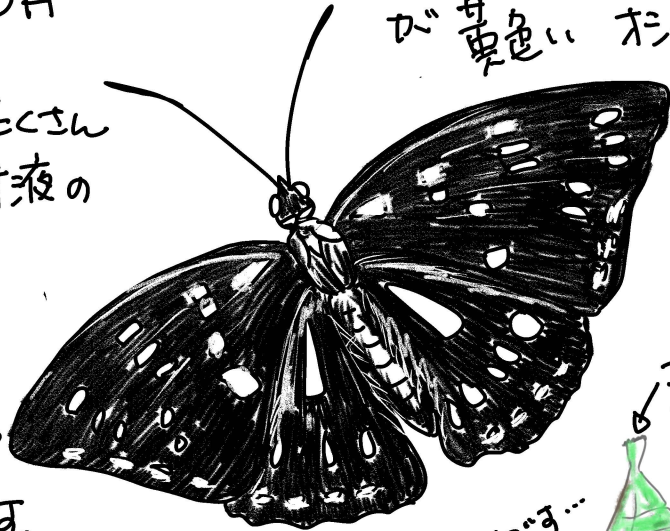
白と黒のしるこいやつ

前ばねの長さ 35~50mm
成虫の時期 5~10月

眼とち(口吻)
が黄色い オシロ.

夏になるとセンター周りにたくさん
みられる。花よりも樹液の
ほうが好き。

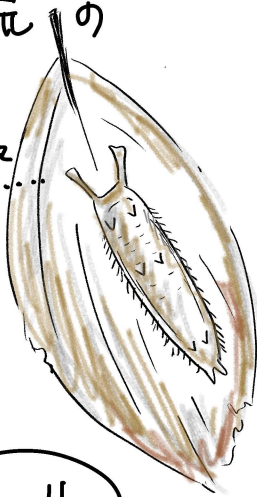
実は重た物のうんちにも
きく。これら分をあげて。



よう虫で さむい冬をすごします。

エノキの根元の
おち葉に

くっついて
います。



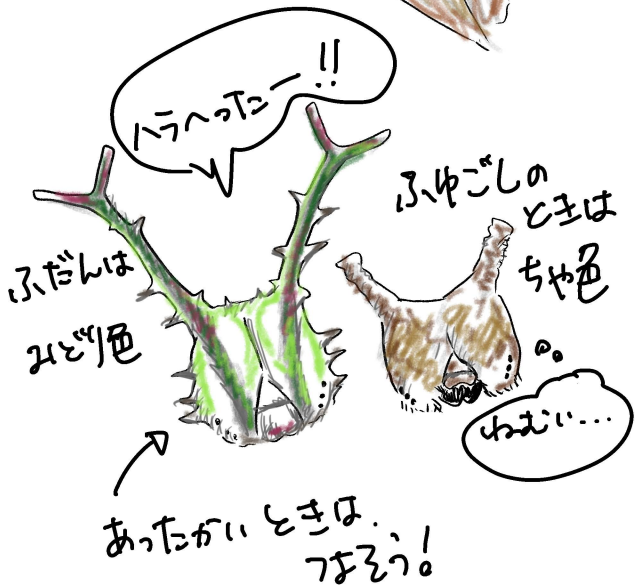
よこからみると
こう

ゴマダラの成虫の
「ゴメン寝」

エノキの葉で...



エノキの葉の色と
そっくりで。
なかなかな
みつけられない!



ハラハツコ!!

ふゆごしの
ときは
ちや色

うまい...

あつたかいときは
75%!

国蝶のオオムラサキ。関東などでみられる
ものは特定外来生物のアカボシゴマダラは。
卵、幼虫、蛹ともに良くにているよ。

食草も同じエノキ。

彩湖のまわりにはオオムラサキはいないけれど。
アカボシゴマダラは いるのでくらべて
みると おもしろいかも。

アカボシゴマダラは。まだこれ"くら"!